

大川におけるさけ稚魚の河川初放流について

■本市魚市場の水揚金額において、さけます類の水揚げは年間約5億円（H27は4.5億円）で推移しており、定置漁業の主要魚種として、経営安定に寄与しています。

■近年、東日本大震災後の放流尾数が不安定なことから、沿岸来遊数及び河川遡上数が減少傾向にあり、魚価が上昇することで、漁業経営は成り立っているものの、加工原魚とする水産加工事業者には厳しい状況となっています。

■本地域沿岸漁業にとって貴重なさけ資源の確保を図るため、安定的なさけ稚魚放流事業を実施することにより、資源の保護増殖に努めます。

【大川におけるさけ稚魚の河川初放流の概要】

- 1 日 時 2月10日（水）午前9時から
※第1便が放流場所に到着するのは午前9時15分頃の予定です。
- 2 場 所 稚魚搬出：気仙沼鮭漁業生産組合ふ化場
（所在：気仙沼市柳沢7-1）
放 流：気仙沼鮭漁業生産組合捕獲所前
（所在：気仙沼市幸町二丁目1-6）
- 3 放流尾数 約95万尾
※体重0.8g/尾（平成28年2月2日測定）
- 4 実施主体 気仙沼鮭漁業生産組合（代表理事組合長 かさねま 笠沼 のぼる 暲）
- 5 その他 当日の天候状況等により延期することとなった場合は、幹事連絡によりお知らせします。